

平成26年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	英語
------	----

(10枚中 その1)

平成25年9月24日

9時00分～10時30分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学専攻

試験科目	英語
------	----

(10枚中 その1)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

I. 以下の英文を、300字程度の日本語に要約しなさい。

(出典：Donahue, E. G., Forest, J., Vallerand, R. J., Lemyre, P.-N., Crevier-Braud, L., & Bergeron, É. (2012). Passion for work and emotional exhaustion: The mediating role of rumination and recovery. *Applied Psychology: Health and Well-Being*, 4, 341-368. ただし、その一部を使用している。)

平成26年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	英語
------	----

(10枚中 その2)

平成25年9月24日

9時00分～10時30分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学専攻

試験科目	英語
------	----

(10枚中 その2)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

--

平成26年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	英語
------	----

(10枚中 その4)

平成25年9月24日

9時00分～10時30分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学専攻

試験科目	英語
------	----

(10枚中 その4)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

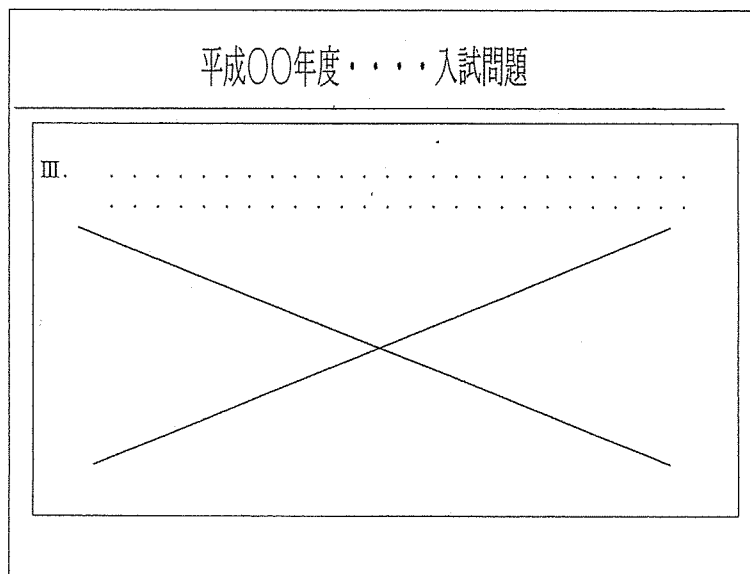
II. 以下の英文を、300字程度の日本語に要約しなさい。

(出典: Slepian, M. L., Weisbuch, M., Rutchick, A. M., Newman, L. S., & Ambady, N. (2010). Shedding light on insight: Priming bright ideas. *Journal of Experimental Social Psychology*, 46, 696-700. ただし, その一部を使用している。)

10枚中 その5 から その9 まで省略

以下の文をよく読んでから
解答に着手すること

1. 問題はⅠ～Ⅴまでの5問である。
2. 心理社会行動科学講座（高度専門職業人養成コースの場合は、心理行動科学分野）を受験する者は、Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの3問と、ⅣもしくはⅤのうちいずれか1問を選択し、合計4問を解答すること。
3. 精神発達臨床科学講座（高度専門職業人養成コースの場合は、心理臨床科学分野）を受験する者は、Ⅳ・Ⅴの2問と、Ⅰ・Ⅱ・Ⅲのうちから2問を選択し、合計4問を解答すること。
4. 選択しなかった問題については、下の例のように、大きく×印をつけること。



5. 5問すべての問題に解答したり、選択しなかった問題が不明確な場合は、すべての解答を無効とするので、十分注意すること。
6. 解答は、枠内にのみ記すこと。枠外や、裏面に書いても、採点の対象にはならない。
7. 解答は、指定がない場合は、必ず日本語で記すこと。

平成26年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

(5枚中 その1) 平成25年9月24日

11時00分～13時00分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

(5枚中 その1)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

I. 個人は、他者の存在や社会的な状況に影響を受けて、思考や感情、行動を調整することがある。このことを踏まえ、以下の設問に解答しなさい。

問1 集団での意思決定は、個人での意思決定に比べて、必ずしも優れているとはいえないことが知られている。このような現象が生まれてしまうメカニズムを説明しなさい。

問2 集団の創造性について検討する研究では、どのような点に注意・工夫して実験計画を立てるべきか。

①現実的な問題解決の方法を検討する研究と比較した場合の、課題の選定の仕方

②実験対象とする集団の選定の仕方

の2点について、それぞれ具体的な例を用いて説明しなさい。

平成26年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

(5 枚中 その 2) 平成 25 年 9 月 24 日

11時00分～13時00分

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

(5 枚中 その 2)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

II. 教師および友人は、児童・生徒の学業達成にどのような影響を及ぼすと考えられるか。

(1) 教師 (2) 友人それぞれについて、教育心理学の理論を踏まえながら具体的に論じなさい。

平成26年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

(5枚中 その3) 平成25年9月24日

11時00分～13時00分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

試験科目	心理発達科学
------	--------

(5枚中 その3)

心理発達科学専攻

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

Ⅲ. 次の2つの間に答えなさい。

問1 1群の平均値に関する帰無仮説「 $H_0: \mu = \mu_0$ 」を検定する統計量 t は次式で構成される。

$$t = \frac{\bar{x} - \mu_0}{\sqrt{s^2/n}}$$

ただし、 \bar{x} は標本平均、 s^2 は不偏分散、 n は標本サイズである。統計的検定では、この t 値が限界値以上の大きさになるとき帰無仮説を棄却すると判断するが、そのように判断しうる論拠を説明しなさい。

問2 G-P分析 (Good-Poor analysis) の目的と方法を説明しなさい。

平成26年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

(5枚中 その4) 平成25年9月24日

11時00分～13時00分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

(5枚中 その4)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

IV. 思春期の逸脱行動には、友人関係の及ぼす影響が大きいと言われている。このことについて、以下の間に答えなさい。

問1 それはなぜか。思春期の心理的特徴を簡単に述べた後、E.H.Sutherlandらの提唱した「分化的接触理論(differential association theory)」の観点を取り入れながら論じなさい。

問2 「分化的接触理論」では説明しきれない現象をあげ、「思春期の逸脱行動には、友人関係の及ぼす影響が大きい」と結論づけることへの批判を述べなさい。

平成26年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

(5枚中 その5) 平成25年9月24日

11時00分～13時00分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

(5枚中 その5)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

V. 次の文章を読んで後の問に答えなさい。

学生相談室のカウンセラーをしている臨床心理士Aさんのもとに、1週間前に交通事故にあった2年生のBさん20歳の母親からの相談電話があった。Bさんと友人のCさんが徒歩で大学の最寄駅に向かっていているところに、後方からトラックが突っ込んで来た。道路側を歩いていた友人は車の下敷きとなって数メートル引きずられたため出血も多く、意識を取り戻さないまま搬送先の病院で死亡が確認された。

Bさんもトラックに跳ね飛ばされたが骨折はなく打撲と擦過傷のみで、意識はしっかりしており、検査入院の後翌日には退院して自宅療養となった。それ以来、昼も夜もぼ～とした状態で事故前後の記憶が曖昧である一方、ちょっとした音、特に戸外の車の音には敏感でしばらく動悸がおさまらない模様である。また、突然事故直後に友人が倒れているさまが目に見てパニックに陥ったり、Cさんが亡くなったのは自分のせいだと塞ぎ込んだりして、睡眠や食事が十分にとれない状態が続いている。外出を怖がって家に籠もりっきりになっている。

1週間経ってもこのような状態であるため、対応に苦慮した母親から学生相談室に相談の電話があった。母親によればBさんは日頃は活動的でこれまで心身共に健康であったとのことである。

問1 現時点でBさんの状態から考えられる障害(疾患)名とそのように判断される根拠を診断基準と照らしながら述べなさい。

(1) 障害(疾患)名

(2) 根拠

問2 学生相談室の臨床心理士としてこの段階で母親に対して行うべき支援の内容を記しなさい。